

16. 第 11-12 回高木レクチャーについて

第 11 回高木レクチャーと第 12 回高木レクチャーの予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招聘し、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日（日）、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに 10 回の高木レクチャーが開催されています。

○第 11 回高木レクチャー（予定）

日 時：2012 年 11 月 17 日（土）

開始時刻 15:00

～ 2012 年 11 月 18 日（日）

場 所：東京大学大学院数理科学研究科
講演者：

- Paul Frank Baum
(Pennsylvania State Univ.) :
「Non-Commutative Geometry and
the Local Langlands Conjecture
(非可換幾何と局所ラングランズ
予想)」
- Alex Lubotzky (Einstein Inst. of
Math.) :
「Ramanujan Complexes and High
Dimensional Expanders
(ラマヌジャン複体と高次元エクス
パンダーグラフ)」
- Robert Seiringer (McGill Univ.) :
「Hot Topics in Cold Gases
—A Mathematical Physics
Perspective
(冷たい気体のホットなトピックス

—数理物理的視点)」

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
齋藤毅，中島啓

主 催：日本数学会，

東京大学大学院数理科学研究科

協 力：Japanese Journal of Mathematics,
東大数理 GCOE

当日は、各講義の概要を「高木ブックレット」として配布する予定です。講演はそれぞれ 1 時間×2 回で行われます。プログラムなど最新情報は高木レクチャーの HP
http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/

に掲載しています。

○第 12 回高木レクチャー（予定）

日 時：2013 年 5 月 25 日（土）

～ 2013 年 5 月 26 日（日）

場 所：東京大学大学院数理科学研究科
講演者：

- Laurent Lafforgue (IHÉS)
- Sorin Popa (UCLA)
- Peter Scholze (Univ. Bonn)

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
齋藤毅，中島啓

主 催：日本数学会

協 力：Japanese Journal of Mathematics

JJM は、広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。

なお、数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円（+税 375 円）で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)